



# 新富小だより

令和7年  
8月29日発行

《本年度の重点教育目標》

認め合い 支え合い 学び合う子どもの育成

No.5

～認め合い 支え合い 学び合う活動を通して 仲間との関係を深め 子どもたちの人間性を高める～

## 自己有用感と自己肯定感を育むために

旭川市立新富小学校

校長 工 藤 真

2学期がスタートしました。たくさんの荷物を抱えて、元気な挨拶と共に登校してきた新富っ子の元気な顔を見て、長い夏休みが充実したものであったことが伺えます。楽しい思い出もできたことでしょう。2学期に向けての意欲に満ちあふれていました。

ところで、「自己有用感」と「自己肯定感」という言葉はご存じでしょうか？「自己有用感」とは、自分が誰かの役に立っている、必要とされていることを実感できる気持ちを指します。例えば、友達に「ありがとう」と言われたとき、クラスの一員として役割を果たしたとき、あるいは家庭の中で自分の言葉や行動が認められたとき、子供たちは「自分って大事な（必要な）存在なんだ」と感じることができます。この感覚が根付いていくと、子供たちは自然と「自己肯定感」（自分自身を大切に思う心）を育てていきます。自己肯定感とは、挑戦する勇気や、失敗しても立ち直る力の源となります。

私たち教職員は、子供たち一人ひとりが「自分にはできることがある」「誰かの役に立てる」と思えるような場面を、日々の学校生活の中で丁寧に積み重ねています。学習の中だったり、日常の学校生活での活動だったりします。では、なぜそれらを養うことが必要なのでしょう？

### 1. 「生きる力」の根っこになる

現代は、変化が激しく、将来の予測が難しい時代です。そのような中で、子供たちが自分の力で人生を切り拓いていくためには、自分を信じられる心を育むことが大切です。そのためには、自己肯定感を育むことが必要なのです。そして、その根っことなるのが、自己有用感です。「自分は誰かの役に立てる」「必要とされている」と感じられる体験が、「自分はここにいていいんだ」「自分にも意味がある」という感覚を育てます。

### 2. 学びや挑戦の意欲につながる

自己肯定感が高い子どもは、「失敗しても大丈夫」「やってみよう」という前向きな姿勢を持ちやすくなります。一方で、自己肯定感が低いと、「どうせ自分なんて」「失敗したら嫌だ」と、自信を持てずに新しいことに挑戦する意欲がわきにくくなります。学習や人間関係、将来の夢への一步を踏み出すためにも、「自分には価値がある」「できることがある」という感覚が大切になります。

### 3. 心の安定や他者との良い関係にもつながる

自己有用感・自己肯定感がある子どもは、心が安定し、他者とも思いやりを持って関わられるようになります。自分を大切にできる子は、他人のことも自然と尊重できるようになるのです。逆に、自分に価値を見いだせないと、イライラしたり、他人と比べすぎたり、攻撃的・引きこもりがちな態度につながることもあります。

これらの感覚を身に付けることにより、様々な場面で、自分を信じられる子が育っていくと考えます。何か失敗をしても「でも、自分は大丈夫」「誰かが自分を信じてくれている」という実感や安心感が、子供たちを支える「心の根っこ」になります。

ご家庭でも、お子さんが誰かにしてあげたこと、頑張ったこと、小さな工夫などに、ぜひ目を向けて温かい言葉を掛けてあげてください。「ありがとう」「助かったよ」「〇〇してくれてうれしかった」という一言が、子供たちの心に大きな力を与えてくれます。

2学期は、行事や学習活動も一層充実し、子供たちが多くの経験を通して成長していく時期です。引き続き、家庭と学校が手を取り合いながら、子供たちの豊かな心と生きる力を育てまいりたいと存じます。



# 本校の働き方改革へのご理解をお願いします



北海道教育委員会では、「学校における働き方改革～北海道アクションプラン（第3期）」を策定し、令和6年度より取組を進めています。学校における働き方改革は、教員自身がこれまでの働き方を見直し、子どもたちと向き合う時間や自らの学びを深めるための時間を確保することで、「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現につながるものです。

本校においても、働き方改革の一環として、マチコミメールによる各種連絡の送信やPTA会議の出欠確認、Googleフォームを活用した学校評価アンケートや欠席・遅刻・早退連絡、電話による学校への連絡体制の変更等、保護者の皆様には多くのご協力をいただいているところですが、依然として長時間勤務の教員が多い状況です。

学校の役割や教員の働き方等を見直し、教員の長時間勤務を早急に改善するためにも、改めて下記の点について、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

○教職員の勤務時間は、8:00～15:35、16:20～16:30（15:35～16:20は休憩時間）です。

この時間外は、勤務を要しない時間です。教職員本人の承諾や事前の約束、緊急時や特段の事情がある場合を除き、勤務時間外に教職員を訪ねたり、電話をしたりすることはご遠慮ください。

○土・日・祝日などの休業日は、原則、対応することはできません。

緊急の連絡がある場合は、緊急連絡メールにご連絡ください。

○学校行事の廃止・統合や規模の縮小、時間の短縮を行う場合があります。

学校行事のねらいや子供たちの状況を踏まえて、内容や方法を工夫して実施します。

○外部人材の活用に関して、ご協力をお願いします。

登・下校時の安全確保や学習支援、クラブ活動の指導など、教職員の業務をサポートするためのボランティアを広く募集しています。

本校の教職員は、新富っ子のよりよい教育環境を整えるため、日々努力を惜しみません。保護者・地域の皆様におかれましては、働き方改革の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

学校における働き方改革に関する情報



## 参観日・PTAガラス拭きのお知らせ

9月4日（木）に、参観日とPTA本部事業のガラス拭きを以下の日程で実施します。子供たちがよりよい環境で学校生活を送れるよう、奉仕作業へのご協力をお願いいたします。詳しくは、26日付けの配付文書にてご確認ください。

### 【当日の日程】

13:35～14:20 5校時（授業参観）

14:35 1～3年生下校

14:40～15:10 ガラス拭き（4年生以上の児童も一緒に作業を行います）

15:15～ 学年・学級懇談

※ガラス拭きにご協力いただける方は、**雑巾と新聞紙**（ご用意できる方）をお持ちください。



◆1・2年生は、ガラス拭きから懇談終了までの間、図書室・理科室で待機可能です。児童預かりを希望される場合は、各担任にお知らせください。

## 学校における熱中症対策

近年の北海道では、8月後半になっても厳しい暑さが続いたり、9月に真夏日が観測されたりするなど、暑さが長引く傾向にあります。今年も例外ではなく、お盆を過ぎても、残暑が厳しいとの予報が出ています。

学校では、児童の健康被害を防ぐため、暑さ指数（WBGT）に基づいて活動の実施の可否や活動内容の変更を適切に判断するとともに、こまめに水分を補給させ、運動する際には適宜休憩を取るなど、熱中症防止のための取組を徹底しているところです。

2学期も日常的に危険度を把握するとともに、屋外での活動および体育の学習時には、児童の健康と安全に十分配慮して教育活動を進めてまいります。保護者の皆様におかれましても、お子様の健康管理に十分ご配慮いただきますようお願いいたします。



## 9月の主な行事予定

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 1日（月）  | 朝の広場 教育実習Ⅰ開始            |
| 3日（水）  | 委員会活動 ひよこ読書（3・4年）       |
| 4日（木）  | 参観日（全）【5時間授業】 PTA ガラス拭き |
| 5日（金）  | フッ化物洗口（1年生開始）           |
| 8日（月）  | 【特別日課5時間授業（評価業務のため）】    |
| 9日（火）  | 【特別日課5時間授業（評価業務のため）】    |
| 10日（水） | クラブ ひよこ読書（5・6年）         |
| 12日（金） | フッ化物洗口                  |
| 15日（月） | 敬老の日                    |
| 16日（火） | 諸費引落日                   |
| 17日（水） | クラブ                     |
| 18日（木） | 持久走記録会                  |
| 19日（金） | フッ化物洗口 いじめ防止対策会議        |
| 23日（火） | 秋分の日                    |
| 24日（水） | 委員会活動（前期反省） ひよこ読書（1・2年） |
| 26日（金） | 教育実習Ⅰ終了 フッ化物洗口          |
| 30日（火） | 前期通知表配付日                |

